



## 平成28年度一般会計・特別会計予算を可決 —国分寺市介護保険条例等改正議案を賛成多数で可決—

平成28年第1回定例会は、2月19日から3月22日までの33日間の会期で開催し、市長提出議案61件(新規59件、継続2件)、委員会提出議案1件の計62件を審議しました。(結果は8頁に掲載)

2月21日には日曜議会を開催し、多くの市民の方が傍聴される中、市長の施政方針に対する各会派による代表質問を行いました。(2～5頁に掲載)



野川不動橋付近(東元町3-26)

### 平成28年度一般会計予算を 賛成多数で可決

平成28年度当初予算案(一般会計と7つの特別会計)は、2月19日の本会議において予算特別委員会(さの久美子委員長、幸野おさむ副委員長)を設置して同委員会に付託しました。委員会では3月7日から16日までの8日間(53時間)にわたり審査を行いました。

#### 今年の予算の内容・特色は

平成28年度予算は、一般会計が408億5,641万3千円(前年度比1.4%増)、7特別会計を合わせた総額は708億1,003万7千円(前年度比1.4%増)で、一般会計は過去最大規模となりました。主な増要因は保育所入所児委託事業費、生活保護費等の扶助費の増と定年退職者が多いための人件費の増が挙げられます。すべての事務事業の経費を見直して積み上げる「ゼロベース部局積み上げ方式」の編成も3年目となり、国分寺駅北口再開発事業や可燃物共同処理施設整備など多額の支出がある中、6億円以上の財政調整基金の積み増しを行い収支均衡型予算とできたことが特色との説明がありました。

#### 予算編成の基本的考え方を質す

委員会の冒頭では予算編成の基本方針について「枠配分方式から部局積み上げ方式にしたための3年連続の予算額増ではないのか」、「財政フレームと総合ビジョンでは「長期総合計画から国分寺市総合ビジョンへの移行にあたり財政フレーム試算踏襲の考え方と、総合ビジョンとリンクしたわかりやすい財政計画」「財政フレームに再開発による人口増を見込んでいない理由」「財政フレーム上、公共施設等マネジメント経費の少額計上」「総合ビジョン策定のための市民参加の手法不足」、**国分寺駅北口再開発**では「来年度は再開発による固定資産税等の増要素を財政フレームに盛り込み、再開発臨時基金取り崩しと工事完了時に特定建築者からの歳入のマネジメントは慎重に」、**税関連**では「消費増税分以上に扶助費が伸びて、経常収支比率に影響していることを説明すべきだ」「34年度まで普通地方交付税不交付の見込みだが、国のインセンティブを意識した創意工夫が必要。特別交付税が獲得できるよう積極的に動くべき」、**基金**では「財政調整基金を取崩さず、前年度決算の剰余金を積み増し分とする確保見直し」、**市債償還**では「高金利債をマイナス金利の今、借りかえる努力をすべき」「再開発事業債の償

還による財政への影響」といった質疑がありました。

#### 歳入にかかる主な質疑

**歳入**では「滞納分の徴収率向上と納税困難者の事情に応じた徴収方法の検討」「ネットやコンビニでの支払、クレジットカード、モバイルレジなどの納税方法の周知とそれらの手数料の値下げ交渉」「納税手段の拡大で納税者の利便が増す。その手数料や滞納者への催告等の費用は納税者負担とすべき」「北口再開発の固定資産税への影響」「まちの魅力を高め当市へのふるさと納税につなげてほしい」「国の交付税等減動向への反対要請」「保育料、延長保育料未納者への児童のことを配慮した納付勧奨を」といった質疑がありました。

#### 歳出にかかる主な質疑

**歳出**では、**人件費**に関し「職員の超過勤務増傾向と担当の実態把握状況」「再任用管理職の配置と再任用職員の選考方法を検討すべき」「28年度の給与改定に係る職員団体との合意状況。都人勧の給与改定によってマイナスになる階層職員への激変緩和措置」「嘱託職員の報酬を検証し、人材確保」等の質疑がありました。

次に費目ごとに審査し、**民生費**では「市補助金交付団体の適正な運営状況のチェック」「成年後見人制度の周知と後見人への費用負担に対する助成の検討」「生活困窮者自立支援事業と公民館での学習支援事業とのリンク。貧困の連鎖を断ち切る子ども食堂等の検討」「介護老人保健施設開設の今後の予定と3か月以上入所者への対応」「高齢者緊急通報システムの周知と独居高齢者宅への設置」「高齢者見守り相談窓口事業の充実」「認知症カフェと認知症サポーター」「障害者のしよりの刷新。社会で認識されやすい障害者ヘルプカード、ヘルプマーク」「障害者差別解消法に基づく地域協議会の設置と障害者理解促進啓発は学校への周知を」「新町寄附用地工事に係る説明」「介護保険認定者の急増と介護予防施策の削減の関連」「保育所入所待機児童の増と定員目標の見直し」「保育所整備時の近隣トラブルの防止」「保育士の人材確保」「みなし寡婦控除の拡大」「学童保育所での4年生以上の受け入れ」「学童保育所によって臨時職員の有給休暇付与に差が生じるのは不適切」「いじめ・虐待防止」等、**衛生費**では「特定妊婦への支援体制の強化と医療機関との情報共有」「健康診査の周知方法とメール利用の検討」「予防接種等の広域連携の推進、償還払い

の導入」「新しい遊戯施設近隣の吸殻・ごみ・受動喫煙対策」「生ごみ堆肥化」「給食残渣の堆肥化と食べ残しを出さない食育の実施」等、**農林費**では「農業委員会の農林水産大臣賞受賞の経緯」等、**商工費**では「商店会が市から補助を受ける際の負担の緩和」「小口事業資金融資対象者の市内居住要件の見直し」等、**土木費**では「特定財産処分による収入確保」「幹線道路以外の生活道路・標識整備実施での優先順位」「街灯LED化での自治会等への意見聴取」「自転車事故多発によるマナーアップ啓発」「ぶんバスけやきルート・万葉ルート実施のための地元との協議、問題解決のための方策」「西国分寺駅北口周辺地区まちづくりのアンケート」「都市計画マスタープランの推進」「耐震診断・耐震改修による耐震化率95%の達成方法」「防災まちづくり学校土曜開講の効果」「湧水保全対策と湧水量測定データの公表」等、**消費費**では「災害時要援護者登録名簿の更新」「AEDの市施設への設置。AED設置状況の市民への周知」「消火栓・防火水槽の充足率」等、**教育費**では「子どもの体力向上に向けた指導」「全国大会等に出場する生徒等を応援する取組」「特別支援教育における副籍制度利用促進」「防犯カメラ映像データの外部提供、目的外利用」「小・中学生への生活習慣病予防健診の積極的周知」「小学校のトイレ改修工事等の計画的実施」「主権者教育への取組」「給食残渣を減らす教育と給食時間の確保」「『大人版宇宙の学校』の業務委託内容」「おたかの道湧水園内歴史的建造物保存修理工事スケジュール」「公民館学習での講

次ページに続く▶

### 映像配信について



平成28年第1回定例会の本会議で行われた施政方針及び代表質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第2回定例会における一般質問のライブ・録画中継も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信  
QRコード

師謝礼の支出根拠」「図書館管理システムの導入とサービス拡充」「本多公民館防火シャッター故障修繕における不適切な対応」「東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成計画及び障害者スポーツ振興の取組」「スポーツ振興計画策定スケジュール」「体育施設自動券売機借上での予算計上の適正性」等、**総務費**では「市報のカラー化」「庁用車等の給油のクレジットカード化」「公共施設等総合管理計画実施における地域福祉の重要性」「業務プロセス分析結果の有効活用」「まちの魅力発信の事業予定とPR」「イメージキャラクター『ぶんじほたるホッチ』の契約更新の方向性」「国分寺まつりへの出店許可の考え方、都から会場の占用許可を受ける市と出店許可を出す実行委員会との権限、法的根拠」「DV防止、犯罪被害者支援」「施設予約システム構築スケジュールとIT弱者対策」「個人番号カード管理システム障害の発生状況」「証明書等コンビニ交付サービス」「18歳選挙権に向けた取組と（仮称）共通投票所の設置、現投票区の見直し検討」等、**債務負担行為調書**では「将来の財政負担を決定する債務負担行為設定の妥当性」等、**地域バス運行事業特別会計**では「運行予定ルート of 収支見込と渋滞に配慮したルート選定」等、**介護保険特別会計**では「新総合事業開始での事業費への影響と一般介護予防事業の拡充」「認知症総合支援、生活支援コーディネーター設置等の今後の取組」などに対する質疑がありました。

#### 撤回再提案ののち賛成多数で可決

市長から体育施設自動券売機借上に関し不適切な予算計上があったため「議案第1号」を撤回する旨の発言が委員会であり、3月16日の本会議では議案の撤回、再提案がありました。

委員会では、再提案「議案第58号」の付託を受け審査し採決を行った結果、一般会計予算案は賛成多数、その他の7特別会計も全員賛成または賛成多数で可決しました。22日開催の本会議でも同様の結果となりました。（※一般会計予算案に対する各会派の討論は5～7頁に、各議員の本会議での表決結果は7頁に掲載）

#### 介護保険条例等改正議案を賛成多数で可決

本年4月から介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新総合事業」）を開始することから地域支援事業の内容を整理する条例改正が提案され、厚生委員会に付託して審査しました。

委員会では「利用者自身によるサービス選択・決定」「積極的な情報提供」「認知症地域支援推進員の配置計画と役割」「市の新総合事業に係る多様なサービス実施に関する国の責任」等の質疑・意見が示されました。

本会議、委員会とも採決にあたり「新総合事業の導入は社会保障費抑制であり、介護サービスの抑制等が懸念される」との反対討論と、「少子・高齢化で限られた財源でのサービス提供が課題であり、介護給付費等適正化は大事。地域

包括ケア構築にあたり、新総合事業に期待する。丁寧な周知・対応を求める」「介護の社会化を後退させずサービス内容充実を求める」との賛成討論があり、賛成多数で可決しました。

#### 継続審査中の日吉保育園民設民営化議案を賛成多数で可決

継続審査となっていた市立日吉保育園を民営化し、その園舎を受託法人に譲渡するための「国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例」と「財産の譲渡」は、2月8日の文教子ども委員会で一括して審査を行いました。

委員会では、担当から前回指摘のあった議決前に財産の譲渡を受託法人と取り交わした「協定書」については、議会の議決を停止条件とする「覚書」を取り交わすことで訂正したとの報告がありました。質疑、討論の後採決を行ったところ両議案とも可否同数となり、委員長は可決と裁決しました。

2月19日の本会議では委員長報告の後「民営化は児童への影響が大きい。コスト削減にもならない。保育士の退職は市の損失。保育士不足で保育園誘致が進まず、待機児童解消に逆行する。市民・保護者への説明が不足している」「覚書により不備は補われた。市が積極的に保育園誘致を進めてきたことを評価する」「今回のことは今後の民営化に生かしてほしい。開園が迫っておりやむを得ない」といった反対・賛成の討論があり、賛成多数で可決しました。

市政を問

## 平成28年 第1回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問が行われた順番で掲載しています

### 人口減少待ったなし、さらなる前進を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

#### ●市財政について

**本橋** 平成28年度予算案、一般会計約408億円、特別会計を含めると約708億円の予算ということで過去最高の予算規模となっている。収支均衡、また財政調整基金の積み増しなど、将来を見据えた財政の健全化を掲げて財政運営をされてこられた点はとても評価できる。また平成26年度予算編成からゼロベース部局積み上げ方式を採用されてきたが、これまでの評価について問う。**（市長）**平成26年度からゼロベース部局積み上げ方式を採用し、その結果、財政調整基金残高を約33億円まで積み増すことができた。前年度の実績に関係なく、事業費をゼロから積み上げていくこの方式がしっかりと定着をしていくように今後とも指導していく。

#### ●新庁舎建設に向けた基金について

**本橋**平成23年に庁舎基金が廃止され、財政調整基金に約16億円繰り入れられた。この庁舎基金分について切り離す時期にきていると考えるがどうか。**（市長）**庁舎基金を切り離しても約18億円の財政調整基金が残る。平成28年度中には切り離しを行いたい。

#### ●国分寺市総合ビジョンについて

**本橋**平成28年度が第四次長期総合計画の最終年度である。今後は長期総合計画を改めて国分寺市総合ビジョンを策定されていくとのことだが、少子高齢化問題、人口減少問題等、諸課題

は多い。どのように解決に繋げていくのか問う。**（市長）**急速な少子高齢化、人口減少、公共施設の老朽化、高度情報社会の進展、市民ニーズの多様化など、市の実情に合わせた計画の策定を、市民参加のもとで行っていく。計画の期間についても従来の10年間から、スピーディに課題を解決していくために8年間の設定にしていく。

#### ●待機児解消について

**本橋**平成28年度に新たに3園の保育園が開園予定で173名の定員が確保される。今後の待機児童の見通しと、同時に保育の質の向上について問う。

**（市長）**待機児童については昨年の88名と変わらない状況だと見込んでいる。ゼロ、1、2歳の待機児童が多い状況で、その辺りも含めて今後とも待機児童の解消に力を入れていく。また、基幹型保育所システムを構築し、質の向上についても力を入れていく。

#### ●学童保育について

**本橋**働く女性の増加、若年層の経済的厳しさから学童保育のニーズも高まっている。4月に新たに民設民営の学童を開設予定であるが、今後も新たな開所を考えているのか問う。

**（市長）**学童については全員入所で受け入れを行っているが、狭隘状況といった課題がある。これからも積極的に誘致していきたい。

#### ●教育施設の充実について

**本橋**平成28年度も学校トイレの洋式化や特別教室へのエアコンの設置を行い、今後も教育環境の充実を図っていく必要があると考えるが、考え方を問う。**（市長）**学校トイレの洋式化については、今年度は3校実施し、来年度以降も行っていく。特別教室のエアコンについても普及させていく。

#### ●高齢者福祉について

**本橋**2025年には団塊の世代が75歳以上になり、今後も認知症の予防政策を充実させ、高齢者福祉予算の抑制を行っていく必要があり、同時に介護事業についても充実を図っていく必要があると考えるが考え方を問う。**（市長）**認知症地域支援推進員を新たに配置し認知症予防に効果的な取り組みを行っていく。また見守り態勢も強化していく。

#### ●スポーツ振興について

**本橋**オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツの機運が高まっている。補助金等をしっかり活用してスポーツ環境の充実を図っていただきたい。**（市長）**補助金を活用したスポーツ施設の整備、拡充を行っていき、生涯スポーツ環境の整備につとめていく。

#### ●農業振興について

**本橋**都市農業振興基本法が制定され、国分寺でも農業振興に力を入れていただきたい。**（市長）**生産緑地の追加指定や、生産者と消費者をマッチングさせるなど、農家の経営基盤の強化につとめていく。

### 形作って中身が入っていないにならぬように



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

施政方針に対し、二元代表制のもと行政のチェック機関として評価すべきところは評価し、厳しいことも是々非々の姿勢で質問します。

◆皆 市長就任3年目。政策、人事、財政、組織等ABCで言えば市長自身どう評価するか？  
次ページに続く▶

市長) 公約や長年の懸案事項を解消、解決してきた。少子高齢社会の進捗に対応できるよう、魅力があり、長く定住し住み続けたいと思えるまちにしていきたい。十分な成果が得られていないと思うが引き続き努力して参りたい。

皆) チームワークの良いとはどんな組織か?

市) 情報の共有化、自由な議論がされている。  
皆) チームワークが良いとは明確な目標、役割分担、自律、実行力も必要だ。互いに尊敬、敬意を払うことや失敗を許せるかも大事な要素。しかし、それとは異なる現実があると指摘する。就任時市長から職員へ、意見等、直接寄せてほしい旨のメッセージは今も変わらないか?

市) 市長室も常に開けていつでも職員が入れるようにしている。自由な雰囲気職員と直接触れ合う機会を作っているし大切にしていきたい。  
皆) 正規職員だけではなく、声を出しにくい臨時、嘱託職員には改めてそのことを伝えて欲しいし、その姿勢を貫くようにすべき。

皆) 予算編成方針において、財政運営では不用額の発生、予算の未執行等について気を付けるよう指示を出すなど地道な財政運営を行っている。今年度約6億の財調の積み増しを行い、臨時財政対策債を借りずにいることは評価する。  
施政方針で経済状況について「堅調な民需に支えられて景気回復が見込まれることを期待している…」とある。現実には、物価の上昇が先行し賃金は追いついていない。大手企業は賃上げしたが、パート等非正規増、全体としては賃金低減。GDPも年率11.4%減、消費税増税分個人消費の低迷、輸出低調、景気は足踏み状態が続く。

市) 経済は生き物。月例報告からの引用であり、敢えてここで期待したいとする気持ちを述べた。  
皆) 本日時点では無理としてもこの見解は昨年12月のもので年明けから変化。一昨年の施政方針では、「個人消費は弱さが見られ、昨年度後半には、実質GDP成長率がマイナス」と厳しい認識だ。わざわざ施政方針に書くのであれば危機感をもって現実を捉えた記述をすべきだった。

◆皆) 地域福祉計画を実行性のあるものにすべき。庁内組織、市民等で構成の地域福祉推進協議会と会議ばかりで二重行政にならないか?

市) 地域の実情を踏まえて進める。行政の押し付けではなく地域の方との連携、どの様にご協力いただくか等市側がリーダーシップを発揮し役割分担を含めて実効性のあるものに。形作って中身入ってなく結局、瓦解では許されない。

◆皆) 日吉民設民営保育園の議案再提案はお粗末。今後、地域住民への説明会の開催をすべき。  
市) 日吉、ほんだ共に説明会をしなければならない。  
◆皆) 特別支援教室の開設にあたり、メリット・デメリット等先行事例も見つつ、保護者の意見を十分に聴きながら丁寧に進めるように。

教育長) 先行例のノウハウも勉強し進めていく。

◆皆) 精神障害の窓口一本化、手話通訳拡大と評価できる。今後、市として障害者差別解消の条例化を目指し準備の一年としてはいかがか?  
市) 今後、研究、検討してまいりたい。

◆皆) 男女平等推進施策について昨年との違い「女性の活躍」のみ。性的少数者への理解は?

市) 女性の力を大いに発揮していただきたい。LGBTについては講座や啓発活動継続。男女平等推進委員会で次期計画への反映を検討する。

◆皆) 嘱託職員の報酬月額の見直しについては全体的には評価する。庁議での議論も活発だった。臨時職員について課題はあるか?

市) 他市との均衡を考慮し単価の見直しをした。

◆皆) アウトソーシングの推進だけでは市民の理解は得られない。市民サービス向上、効率化両立が必要だが、その手段についての見解は?

市) 民間出身として企業努力、社会貢献等承知している。PPP、広域連携等指定管理者制度を横軸とした管理を新年度取り組む。民間をコントロールするといった認識を持ち進めたい。  
皆) 民間委託を否定しないが制度の検証も必要。新たな仕組みより担当部署こそしっかりすべき。

◆「健康で文化的な都市」の表現を外した理由。  
市) 外したことが軽視したということではない。  
皆) 記載されていないことが残念である。

## 着実な改革の前進 油断せず改善持続を



公明党 木島 たかし

【財政健全化への取り組みについて】

問) 28年度予算は27年度と同様に借金を減少させ基金を積増したことを大きく評価する。その上で、中長期的な安定した財政基盤確立のため油断を排し、さらなる行財政改革が必要だと考えるが、市長の決意を伺いたい。

市長) 課題は山積している。今後も負担を先送りせず安易に基金を取崩さずに財政運営を行う。

【庁舎建設基金の再設置と財政調整基金】

問) 財政調整基金(以下、「財調」)がここ数年の着実な積増しにより、28年度末に約34億となることを踏まえ、23年度に廃止をして財調に編入した庁舎建設基金(当時約16億)を28年度中に再設置する、との市長の考えを評価する。その上で、今後も財調への積増しを図るべき。

市長) 財政の弾力性を保つためには一定の基金が必要だ。指摘の通り進めて行きたい。

【保育の待機児童解消への取り組みについて】

問) 28年度は民設民営により新たに3園の開所が予定されていることを評価したい。今後も民間保育所の誘致を進める上で、工事や運営について事業者側の地域住民への丁寧な取り組みが必要だと考える。市が調整役を果たすべきだ。

市長) 保護者や近隣住民に安心していただくために柔軟に対応していきたい。

【学校の教育環境の整備について】

問) 小学校のトイレ改修及び特別教室のエアコン設置(各3校ずつ)は28年度の重要な事業。昨年六小のトイレ改修工事が入札不調になったことを踏まえ、万全の準備を。

教育長) 昨年の入札結果を踏まえ、積算を見直すなど努力してきた。順調に進むようにしたい。

【認知症施策のさらなる充実について】

問) 認知症カフェ(2ヶ所)設置及び地域支援推進員(地域包括支援センター3ヶ所)の配置を大きく評価。今後も若年性認知症への対応も含めさらに安心して相談を受けられる体制を。  
市長) より力を入れて支援を行っていく。

【健康のための検診や予防接種事業について】

問) 就学前乳幼児等を対象としたインフルエンザ予防接種の一部公費負担。また、若年層(25~29歳)への健康診断の拡充を高く評価する。周知に力を入れて取り組んでいただきたい。  
市長) ホームページやツイッター等、あらゆるツールを使って広報を行ってきたい。

【ぶんバス事業のさらなる取り組みについて】

問) 北町ルートに続き、「万葉ルート」(史跡周辺地域)の実現とともに「けやきルート」(東恋ヶ窪周辺地域)の運行の具現化を。

市長) 万葉ルートは12月頃をめどに進める。けやきルートは課題を克服するために取り組む。

【都市計画道路の着実な整備について】

問) ①国分寺駅北口再開発に連動する国3・4・12

号線②西武国分寺線踏切安全対策を兼ねる国3・4・6号線③国分寺街道を中心とした国3・4・12号線この3路線は特に整備が必要。推進を。

市長) 丁寧に着実に推進していきたい。

【街灯のLED化の推進について】

問) 市管理の街灯照明灯LED化が進められていることを評価。その上で、自治会・町内会が管理する街灯もLED化を進めるべきと考えるが。  
市長) 29年度から進めていくためにしっかりと計画を立てていきたい。

【ごみ減量化への取り組みについて】

問) まだ食べられる状態なのに廃棄されてしまう「食品ロス」を減らすために、「フードバンク」等のさらなる取り組みが必要と考えるが。

市長) 市として進めてまいりたい。

※他に以下の課題の推進や改善を求めました。

◎職員の事務遂行における基本姿勢

◎産後ケアの充実への取り組み

◎学童保育所の民間事業所誘致による充実

◎いじめ虐待防止への不断の取り組み

◎ひとり親家庭への支援の充実

◎介護支援ボランティア制度の円滑な推進

◎国分寺駅北口再開発の工事の安全確保及び駅利用者の動線等、利便性向上を。

◎西国分寺駅北口周辺のまちづくりは、周辺住民をはじめ市民の関心も高い。今後の進め方については、的確な情報提供を。

◎文化庁が推進する「日本遺産」認定に向けた取り組みを通じて国分寺のまちの魅力発信を。

◎都立多摩図書館の泉町への移転に伴う市民の読書環境のサービス拡充。

## 今こそ、地域福祉の まちをつくらう!



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

(問) 若い世代が「このまちで暮らし続けたい」と実感できる国分寺にするためにも、確かな財政基盤を築くことは重要だ。また、地域福祉計画が策定され、新総合事業が始まる今こそ、地域福祉のまちづくりを推進するチャンスだと考える。これまで以上に、多様な価値観を持つ市民や団体との連携、協働が重要になる。その基盤となるのが、正しくわかりやすい情報公開だ。説明責任はもちろん必要だが、合わせて、情報

次ページに続く▶

## 閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

平成28年第1回定例会終了後、第2回定例会までの委員会等は下記のとおりです。

4月15日(金) 議会運営委員会

4月21日(木) 厚生委員会

4月22日(金) 総務委員会

4月25日(月) 建設環境委員会

4月26日(火) 国分寺駅周辺整備特別委員会

4月27日(水) 文教子ども委員会

5月9日(月) 議会運営委員会

5月30日(月) 代表者会議、議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

※5月9日の議会運営委員会は午後1時から開催します。

※詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

公開も十分に果たしていただきたい。

(市長) 市民との情報共有は欠かせない。特に市民の方々にわかりやすい情報発信の仕方を心がけていかなければならないと考えている。

(問) 「まちの魅力発信」というと、史跡や湧水に注目が集まりがちだが、エリアごとに特色ある魅力をたくさん発見することができる。そして、それらに気づき、大切に感じて行動している市民もいる。それぞれの地域にある魅力を積極的に発信することで、国分寺市全体として「魅力あるまち」になると考えるが見解を伺う。

(市長) 確かに従来から国分寺の魅力という史跡を中心とした自然が言われてきたが、北側地域に残る非常にきれいな自然環境等、今後も保全が必要だ。魅力あるまちづくりに、それぞれの地域にある特色の活用、保全を進めていく。

(問) 子育て世代に魅力的な子ども施策について、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりは「居場所づくり推進会議」を中心に、多くの市民が主体的に関われるよう進めてほしい。

(市長) 子どもたちは市にとっても宝だ。居場所づくりを推進する組織を作り、充実に努める。

(問) 小・中連携教育は、小・中が一緒になって、全ての児童・生徒の基礎的・基本的な学習の定着を図るとのことだが、合わせて、子どもたちの自己肯定感を育み、一人ひとりが大切にされる教育を何としても推進していただきたい。

(教育長) 学校教育が、知・徳・体のバランスのとれた教育を行うことが重要。子どもたちを子どもたちという集団で捉えるだけでなく、一人ひとりに視点を当てて教育を考えていく。

(問) 都立多摩図書館に、国分寺らしさを取り入れていただくよう東京都と具体的な協議を！

(教育長) 公文書館も移転してくる予定。学ぶ場になってきたという実感ある。協議していく。

(問) 高齢者見守り相談窓口について、地域には、ご近所の緩やかな見守りから専門職による見守りまで多様な取り組みがある。これらを重層的にネットワークすることが重要。また、対象を限定しない見守りのしくみづくりを求める。

(市長) 初年度は、高齢者を見守るネットワークの構築のために、必要な視点の整理を行なう。

(問) 介護支援ボランティアについて、ボランティアにとっては生きがいややりがい、利用者にとっては楽しみや張り合いになるような取り組みを求める。研修を実施することだが、自立支援の考え方の共有が重要だと考える。

(市長) 視点はよく分かる。介護の現場に立ち会われた方の体験を生かした研修を進めたい。

(問) 障害者差別解消法が施行される。全ての事業を合理的配慮の観点から点検を！また、障がい理解促進となる交流の場や機会の拡充を。

(市長) 障がいによる差別がないように今後も進める。施行を受け職員研修を改めて行う。また、意識の問題が大きいことから啓発に努める。

(問) 精神保健福祉業務の窓口の一本化については、当事者に寄り添った相談支援体制の充実に期待する。また、基幹相談支援センターとの連携を図り、生活全般を支える地域ネットワークの構築に積極的に取り組むことを求める。

(市長) 障がい者が利用しやすい制度にする。

(問) 障害者スポーツは誰もが参加しやすいプログラムだ。地域交流の視点で進めてはどうか。

(市長) 障害者スポーツへの理解度は広がっている。差別のないスポーツの場を共有していく。

(問) 男女平等推進行動計画にLGBTを人権施策として位置付け、全ての事業をLGBTへの配慮の観点から点検することを求める。また、特に学校においては、男女二分の考えに基づく押しつけがないか等検証し、個別的な配慮も含

めた取り組みが必要だと考えるがいかがか。

(教育長) 重要な人権課題の一つであると認識している。一人ひとりの児童・生徒の悩みをしっかり受け止め、個別の事案に対して十分な配慮をした対応ができるよう努めていく。

## 貧困対策は最優先で実施を くらし守る市政に



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

《市民のくらしの実態から消費税増税中止を》

中山) 安倍政権の下で国民の実質賃金が5%以上も減少し、2015年10月から12月のGDPはマイナス0.4%となった。個人消費の落ち込みが最大の要因と言われ、国民の所得よりも大企業の利益を優先するアベノミクスによって市民のくらしは悪化している。日本共産党には「リストラされたために住宅ローンが払えず自宅が競売にかけられてしまった」「母子家庭で子ども二人。パートのみの仕事で所得は少なく、年収100万円くらいです。プラス母子手当で何とか生活してきました。消費税やごみ有料化で何でも出費が増し、切り詰められるものもありません」という声が市民から寄せられている。しかし、市長の施政方針では市民のくらしの実態に対する記述がまるでない。市民のくらしの実態から市政を考えることこそ市長の最大の責任ではないか？

市長) 市民全体の所得が上昇することをぜひ期待したい。

中山) 生活に関わって消費税の問題。低所得者ほど負担が重くなる消費税10%への増税に反対の声を政府にあげるべきではないか。

市長) 増え続けている社会保障費等を社会全体(消費税増税)で補っていかなければならない

中山) 消費税増税は、冒頭紹介したような暮らしのきびしい市民が一番苦しむ。大企業に応分の負担を求めるなど、消費税に頼らない政策への抜本的転換が必要。

《増税されてしまった消費税で施策拡充を》

中山) 日本の子どもの貧困率は2006年から2012年の間に14.2%、約7人に1人から、16.3%、6人に1人へと急速に悪化している。そんな中、市税の2.7億円の増加や、消費税8%増税にともなって市の歳入(収入)が約13億円増えている。その財源で「低所得世帯の高校生への奨学金支給事業の復活(約1,400万円)」や「引き下げた就学援助の基準を元に戻すこと(約1,000万円)」、市長の公約でもある「子ども医療費助成の拡大(約1億2,400万円)」を求める。

市長) いろんな施策を展開する中で順番がある

中山) こういった対策は最優先で実施するべきで後回しにするべきではない。

《保育園の民営化は中止を》

中山) 障がい児の保育園入所では、民設民営園に入所する場合、公設公営園より保護者の負担が大きいことは過去の陳情審査で保護者が実態として訴えている。また、保育士不足が社会問題になっている中で、民営化により保育士を市が手放してしまうことは待機児解消にも逆行している。そして、長年運営を続けてきた公設公営園は地域に根差しているが、それを民営化すれば地域との関係を一から築いていくことになるなど、保育の質が担保されない。民営化は中止するべき。

市長) 量の拡大と質の維持・向上は約束している。保護者の要望に応えるためにも着々と民営

化していく。

中山) 質を維持向上させるための基幹型保育所システムのワーキングチームでも障がい児の入所の問題には触れていない。民営化によって保育の質が担保されていない。

《介護保険のサービス取り上げをするな》

中山) 要支援者が保険給付から外されるが、強引なサービス外しの制度にしないことと、入浴事業の復活などの介護予防施策の充実を求める

市長) 今年は現行サービスを維持。介護予防推進事業は継続するが、入浴事業は再開しない。

《大型開発から地域に根差したまちづくりに》

中山) 様々な市民サービス切り捨ての根本的な要因は国分寺駅北口の再開発事業にある。総事業費は930億円、市の負担は473億円にもなり、さらに増えている。市民施策を犠牲にしてすすめる大型開発ではなく、市民の利便性向上をめざすバリアフリー基本構想の策定や、地域住民から要望の声が大きい西国分寺駅及び恋ヶ窪駅への東口開設を求める。

市長) 様々な事業を進めるにおいて財政的なものが必ずかかわってくる。

中山) だからこそ、大型開発から抜け出して地域に根差したまちづくりに転換するべき。

\*他に、公共施設の老朽化対策では市民サービスを後退させないこと、マイナンバー制度の中止、憲法を守る取り組みの強化を求めた。

## 財政調整基金は 積み増せたが…



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 施政方針にて、景気が経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が続いていると述べられたが、大企業のみ一時的であったが、国民所得の実質賃金は4年連続下落で甘い見通しだ。

市長) 不安定な状況にあると思うが、国は1億総活躍を進めて景気の底上げ、好循環につながり、市としても雇用に資する施策をしたい。

甲斐) ということは、この予算は景気が上向き回復基調が前提の予算案であるから、景況がそうもいかず、腰折れしていく際には、評価をした基金の積み増しを初めとしての補正予算等対応をお願いしたい。

甲斐) 私は23年のこの場にて、前市長に対し最初に4年前は財政調整基金が32億あったのに、1億7千万しか残らない予算案で、何か火急な対応が困難な真っ当ではない予算案だと指摘した。直後に3・11大震災が起き、庁舎基金を崩し、財政調整基金に併合する、綱渡りの運営となった事を考えれば、6億の積み増しは評価。嘱託職員の待遇改善も評価し、今後も待遇改善を行っていかなければならないと共に、首相の国会答弁にあるように同一賃金同一労働を視野

次ページに続く▶

## 「日曜議会」を開催

2月19日の本会議で、市長より平成28年度施政方針演説が行われ、それに対する各会派からの代表質問を2月21日(日)に行いました。

当日は多くの市民の方が来場され、議会を傍聴されました。

今後も「開かれた議会」となるよう取り組んでまいります。

に常勤職員との仕事の違いを明確にするように。  
市長) 今、業務プロセス分析をやっており、仕事の区分けを線引きしていくことが必要だ。今回はその手直しの一つ目だと思っている。  
三遊間の球を飛びついて捕ろうとする職員像へ  
甲斐) 市長は職員に対して「信賞必罰」を唱えているが、私は、それでは職員は萎縮してしま

うか、新たな課題にミスリードを恐れて、果敢に取り組もうとしなかったり、枠の中の仕事にとどまろうとしたりしてしまう。見解は？  
市長) 私は三遊間のゴロは捕れと言っている。  
甲斐) 地域福祉計画がスタートしたが、地域参加の市民意識の醸成がなされていない。課題だ。  
市長) おっしゃる通りこれからの肝だと思う。

より幅を広げて周知するよう模索していきたい。  
甲斐) 昨年の代表質問でも庁舎の検討の一つとして、立派な本格庁舎でなく、この仮庁舎と同程度のものを新設につなげる方策を提案した。本予算に庁舎関連は無いが、選択肢の一つと検討せよ。

## 一般会計予算案に対する討論の要旨

3月22日の本会議で平成28年度一般会計予算案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論が行われた順番で掲載しています。

### 財政健全化に向け大きく前進 !!



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

本予算は、井澤市長の掲げる「将来を見据えた財政健全化」に基づき、これまでに引き続き「ゼロベース部局積上げ予算方式」に取り組み、各部及び各課における「見積り徹底的な精査」と「ヒアリングの強化」により真に必要なものを計上した結果、財政調整基金の取り崩しを行わない収支均衡予算となった。

また、本予算の一般会計は、昨年度、過去最大規模となった額を超えて約408億円となりました。中身を見れば扶助費が前年度比8.0%、約7億8,000万円の増となる中、それでも財政調整基金を6億6,000万円ほど積み増すことができ、平成24年度には約29億円まで落ち込んだ基金残高を平成28年度は約55億円まで積み増すことができる、そのことについて高く評価をするところである。更に、公債費の償還が進み一般会計で4.6%、約8,500万円の減、下水道事業債、特別会計を含めた全会計総額で4.6%、約2億円の減となるなど、着実に公債費を減少することに成功してきている。

それによって市債は平成19年度、約675億円あった未償還額は平成28年度、約388億円にまで減少する見込みである。

これらの数字から読み取れるのは、中長期的なビジョンから行政財政改革を進め「将来にわたって安心して生活ができる、持続可能で自立した自治体財政」に向けまた一歩、大きく前進したということであり、3回目の予算編成となる井澤市政を高く評価をさせていただくものである。

個別の事業ではより精査がなされ、明らかに無駄なものや旧態依然とした事業というものは確実に減少し、新たな地域課題の解決、または、新たな市民ニーズへの対応を目指した取り組みが多く見られる内容となっており井澤市長の改革の成果が確実に出てきていることがわかる。

計上された一つ一つの事業では若い世代が安心して産み育てることができる環境整備のために、民設民営保育所の整備と拡充、狭あい状況の解消に向けた民設民営学童保育所の開設と誘致、親子ひろば事業の拡充、小学校トイレ洋式化の改修、特別教室へのエアコン設置など、子ども・子育て施策の充実が顕著に見て取れる。

また、小学校通学路防犯カメラの運用や、木造住宅の耐震診断費用の無償化、街灯・照明灯のLED化の更なる推進など、安全・安心施策の充実はもとより、福祉分野でも新たに「高齢者見守り相談窓口」の開設や、認知症施策の推

進として認知症カフェの整備、認知症地域支援推進員の配置、就学前の乳幼児を対象としたインフルエンザ予防接種の一部公費負担、妊婦健診での「HIV抗体検査」「子宮頸がん検診」の公費負担の実施、25歳から29歳を対象とした若年層健康診査の開始など福祉施策の充実も多く図られております。施設予約システム導入事業や、ぶんバスの新規ルートとなる「万葉・けやきルート」、証明書等のコンビニ交付開始をはじめとする、利便性が高まる市民生活に直結する事業なども随所に盛り込まれております。

井澤市長が収支均衡予算を引き続き編成されたことは、改めて市長の財政の健全化に臨む強い姿勢を感じたところである。今後も更なるアウトソーシングの推進や事務の効率化の徹底により、行政改革に取り組んでいただきたい。

井澤市長のもと、新庁舎建設に向けて大きく一歩踏み出すことができる、そんな平成28年度予算であり大きな成果が出ることを期待しております。井澤市長のもと全職員が一丸となって市民の信頼に応えていただきますよう強くお願い申し上げます、賛成の討論とさせていただきます。

### 手強い財政運営継続と職場環境の問題解決を



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

一般会計約408億、特別会計合わせて約708億円もの予算を議決する立場として最初から結論ありきではなく質問、議論、提案により結論を見出す。代表質問で市長自身の評価を問うた際にはまだ成果が十分に得られていないとの答弁。現状は基金の積み立てなど堅実な財政運営がなされている点は評価する。一方、現場においては指示等浸透していない実態が判明。しっかりと認識した上、市政運営にあたるよう求める。

●個別事項等市の姿勢、前向きな答弁で評価  
①財政面では、財源不足の穴埋めのための借金である臨時財政対策債を借りずに予算編成した。  
②一部課題はあるものの、ゼロベース部局積上げ方式で約6億円もの基金積み増しができた。  
③15年ぶりに嘱託職員報酬など抜本的な改善、改正がなされた。応募者ゼロとならないように。  
④まだ十分ではないが保育園誘致の積極的姿勢  
⑤精神保健業務の窓口一本化。障害者差別解消法の趣旨とも合致する。周知、広報を着実に。  
⑥認知症カフェの開設等高齢社会に向けての施策の充実。介護保険に留まらず健康寿命を視野に一般施策での介護予防施策の充実取り組みを。  
⑦男女平等推進施策では性的少数者施策について学校教育との連携によりいじめにつながらないよう取り組むことや相談窓口のパンフレット等男性トイレにパンフレットの配架等工夫を。

⑧学校におけるトイレの洋式化への改修。  
⑨若年層に対しての健康診断の取り組み拡充。  
●施政方針や予算上の問題点、課題、指摘事項  
①市長就任以降記載されていた普遍的テーマ「健康で文化的な都市…」を「持続可能な自治体財政の確立」に変更。削除せずに加筆すべき。  
②指定管理者制度、行政評価制度全般では、制度導入が目的ではない。市民サービス、効率化の両面の検証を。事務事業評価の指標が活かされていない。自らの仕事をしっかり認識せよ。  
③業務プロセス分析。職員の職務が限定的で硬直した組織になるのではないかと懸念あり。  
④超過勤務の目標時間に達成していない実態がある。何が問題か分析等により改善が必要。  
⑤情報共有ができていない組織の在り様の問題。臨時職員等現場の声が上司に届かず風通しの悪い職場環境がある。チームワークの良い職場づくりを目指す市長の方針とは異なる実態だ。  
⑥職員衛生管理費におけるストレスチェックは多くの職員が受けられるようにすることが望ましい。日頃から良好な職場環境が大事な点だ。  
⑦予算議案再提案となった、体育施設自動券売機借り上げ事業についての見積り問題はゼロベース予算編成の考え方が踏襲されず、従来の手法により契約することとなった。債務負担行為については他の事業では問題がないか再検証すべき。  
⑧本多公民館防火シャッターの件は市民の安全面において不適切な対応が判明。体育施設も含め契約の問題等再発しないよう求める。  
⑨市民参加、市民への説明について。無作為抽出による市民参加に加えて参加したい市民を排除することがないように。市民説明でお上意識との批判あり。説明の在り方を再度確認せよ。  
⑩数百万の補助金支出と目的がコミュニティの醸成の国分寺まつりは未だ市民が二分されている状態。質問に答えない市長の姿勢は不誠実で市民の不信感を買うこととなる。3年目の新年度は、解決に向けて取り組むようにすべき。  
⑪1億の歳入を見込んでいる特定財産収入は目標を達成すべく取り組むことを求める。  
⑫職員組合と市との関係性は不安定で市民サービスへの影響が心配となる市政運営は問題とし、評価する点もあるものの予算議案は反対を表明。会派では1人反対。賛成者は5人となりました。

### 市民に寄り添い、思いやりの施政運営を!



公明党 なおの 克

●財政運営について  
将来世代への負担の先送りとなる臨時財政対策債を借り入れず、公債費を減少させ、約6億6千  
次ページに続く▶

万の財政調整基金への積増しによって、着実に財政の改善が図られてきていることを評価したい。また29年度に国分寺駅北口再開発の保留床処分金の歳入が予定されているが安易に基金を取り崩すことなく財政運営を行って頂きたい。

#### ●職員の意識改革について

将来を見据えた人材育成を着実に進め、強い組織を構築して頂きたい。管理職の更なるレベルアップや課内・部内会議の充実を求めたい。

#### ●まちの魅力発信として

宇宙開発発祥の地としての更なる周知、日本遺産の認定に向けた取り組みを通じて当市の歴史遺産の魅力の発信に努力して頂きたい。

#### ●認知症支援に関わる事業について

認知症サポーター養成講座の拡大、新規事業の「認知症カフェ」開設や「認知症地域支援推進員」「見守り相談窓口」の設置で、より重層的で支援をしやすい体制になった。今後も介護する家族に寄り添った施策を進めて頂きたい。

#### ●LED化・自治会町内会への取組について

今後は更に自治会・町内会管理のLED化が重要であり、丁寧な説明と準備を求めたい。

●「AED」設置について配置増を評価したい。今後コンビニ等への設置など促進活動を願う。

●保育の待機児童解消に向けた取組について新たに保育所が3園開設されることを評価したい。今後の事業者誘致は、地域偏在が生じないよう、また近隣住民の信頼や理解を得られるよう、より一層の取り組みを求めたい。

●未就学児に対するインフルエンザ任意予防接種事業について乳幼児は重篤化し易く保護者負担も軽減できる。早期の情報提供を願う。

●25歳から29歳の若年層の健康診断について健康への意識啓発、早期発見・治療の為にも受診率アップの取り組みを引き続きお願いしたい。

#### ●障がい者相談事務事業について

ヘルプマーク等、ぶんバス優先席等に表示されること、また精神保健福祉業務の相談体制の充実が図られたことを評価したい。今後も一人に寄り添う支援相談、思いやりのある取り組みを。

#### ●「生活道路・安全対策」について

狭隘な道路が多い当市では、生活道路の整備や自転車レーンや自転車利用者のマナー向上の取り組み等、粘り強い対応を強く求めたい。

#### ●「ぶんバス」について

「万葉ルート」について、地域住民の期待に応え、12月に本運行が開始となる見通しとなったことを高く評価したい。また「けやきルート」実現に向けて、あらゆる可能性を模索しながら、最大限の努力で形にして頂く事を強く求める。

●施設予約システム及び、証明書等コンビニ交付サービス開始について市民の利便性が大きく向上される。特にコンビニ交付については、個人情報保護の対策を図って頂きたい。

#### ●スポーツ推進について

「史跡駅伝」は今後も長い取り組みとして続けて頂きたい。また「スポーツ推進計画の策定」に向け、将来を見据え、市民のスポーツ活性化に繋がる計画となるよう求めたい。

#### ●教育環境の整備について

小学校のトイレ改修工事、特別教室のエアコン設置の早期契約・着実な施工完成を願う。子ども達の教育環境の整備を重ねてお願いしたい。

#### ●ごみ減量化及び再利用推進について

今後は未利用食品への着手が更なる減量の取り組みに欠かせない。食品ロス削減、循環型社会を目指し、更なる減量に努めて頂きたい。

## ささえ合い、共に生きる まちづくりに向けて



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

平成28年度予算は、過去最大の約408億6千万円となったが、収支均衡予算となった上、財政調整基金を約6億6,000万円計上し、合計約34億円まで積み増すことができた。更に、地方債未償還金残高の減少がすすむ等、総合的に見るとバランスの取れた予算となっている。

しかし一方で、扶助費が約106億円と、初めて100億円を超えた。少子高齢社会に伴い、今後ますます増え続ける扶助費をはじめ、今後は公共施設等マネジメントや、道路・下水道等のインフラ整備、清掃施設整備や新庁舎建設等、多額の財政負担が見込まれている。また、財政フレームでは平成29年度に国分寺駅北口再開発事業の保留床処分金135億円の繰入と、翌30年度に約70億円の償還が試算されている。

人口ビジョンでは、生産年齢人口が平成31年度をピークに減少すると推計されているが、次世代への負担を最小限にとどめる視点が必要だ。

このような状況から、平成28年度の総合ビジョン策定にあたっては、社会情勢や人口動態を的確にとらえ、若い世代が国分寺で暮らし続けたいと思えるような事業展開と、その裏付けとなる財政の確保は欠かせない。また、平成28年度中に庁舎建設基金を財政調整基金から切り離すとの考えが示されたが、いつ起こるか分からない災害等に備えるためにも、財政調整基金については、市が最低ラインとする20億円に留まることなく、更なる積み増しを計画的に行うことを求める。

平成28年度は全ての事業をゼロから見直し、「ゼロベース部局積み上げ方式」での予算編成3年目となった。しかし一方で、徹底的な精査やヒアリングの強化は当然必要であるが、本当に必要な予算まで削られることの無いよう、市民に寄り添った判断も同時に必要と考える。また、事務事業の進め方については、協働の推進等、その手法も含めて「最小の経費で最大の効果」につながる展開を望む。

生活困窮者支援については、無料学習塾や就学援助、ひとり親家庭への支援等も含めて、経済的な困窮を抱えている人や家庭に的確な情報が届くような周知と合わせて、未利用食品の回収を、庁内連携をはかり実施する等、縦割りを排した横断的な取り組みで生活困窮者支援を進めることを強く求める。更に、国分寺市の実態や他市の事例を検証し、家計相談をはじめ、就労支援等、任意事業の実施の検討を求める。

国分寺まつりについては、政治的な意味合いを持つという理由で、2年続けて特定の団体が参加できない状況があった。平成28年度の開催にあたっては、新たに発足する実行委員会にこれまでの経緯を正しく伝えると共に、オンブズパーソンが示した実行委員会との協議を要望する。また、市民が参加するおまつりで、市民を

二分するようなことがないように、市が責任を持ち、解決に向けた道筋をつけることを求める。

平成28年度は、障害者差別解消法が施行され、障がいのある人もない人も、地域で共に生きることを改めて確認し、理解し合い、助け合う機会となる。また、新たに介護予防・日常生活支援総合事業がスタートし、平成27年度に策定された地域福祉計画を市民とともに地域で展開するなど、多くの市民との協働で市民主体の支え合いの地域づくりを描き始める大事な年となる。年齢、性別、国籍の違いや、障がいのあるなしにかかわらず、このまちで暮らし、働き、学び、活動する市民一人ひとりの人権が尊重され、誰をも排除することのない共生のまちづくりに向け、市民とともに新たな一歩を踏み出す年となることを期待し、賛成の討論とする。

## 消費税財源を活用し 市民施策の抜本的拡充を



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

【市政の根本的な2つの問題】①「住民の福祉の増進を図る基礎自治体として、市民生活を支える姿勢が根本的に欠けている」こと。②「市民参加などの市の最高規範である自治基本条例の立場が著しく後退している」こと。

【市民の暮らし最優先の市政へと、消費税財源の活用と大型開発からの脱却を】8%へと増税された消費税の財源約12億円を活用し、暮らしの予算、社会保障施策の拡充が必要。しかし、消費税増税分の使途が不明朗なために、社会保障施策の拡充は極めて不十分。市民が求めているのは大幅な拡充だが、それに応える市政になっていない。その根本的な要因として、莫大に膨れ上がっている国分寺駅北口再開発事業の問題がある。総事業費930億円、市の負担473億円の事業が国分寺市の財政を圧迫していることは明白。住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体の役割をしっかりと果たすためにも、大型開発中心の市政から、市民の暮らしを支える市政へと抜本的な転換を求める。

【保育待機児童の解消に全力を。それには民営化ストップ】認可保育所の整備は高く評価しているが、待機児童が増えている。待機児童ゼロの実現を求める。一方、公立保育所の民営化は時代遅れの施策。保育士が不足しているのに、民営化によって市が保育士を手放すことは、待機児童解消の取組と矛盾している。民営化計画はストップを。また、市が検討を進めている保育料の値上げは少子化対策に逆行。絶対に値上げすべきでない。

【学童の整備を早急に。6年生までの拡大を】2019年度までに1064名の定員を確保をめざし、あらゆる手段で確保すべき。そして、早急に  
次ページに続く▶

## 請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成28年第2回定例会(6月1日開会予定)からの審議を希望する方は、5月12日(木)までに議会事務局へご持参ください。

## 次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成28年第2回定例会は、6月1日(水)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

対象を6年生まで拡大することを求める。

【市の責任で介護予防施策を拡充せよ】市が高齢者生きがい事業や入浴事業などの介護予防施策を縮小したために介護認定者が急増。認定者割合の伸びは多摩26市で3番目に高い。そのため、2015年度に介護保険料は桁違いの値上げが強行された。介護予防施策の拡充が急務だが、今年も縮小し、市は介護施策への責任を放棄している。市民の要望が今でも強い入浴事業の再開や高齢者生きがい事業の拡充など、介護予防施策の拡充を強く求める。

【障がい者の差別解消に向けた取組みを】各障がい者団体等からの要望の早期実現を求める。通院にかかる交通費補助の対象拡大や、社会参加を促す移送サービスやタクシー券の支給、ガイドヘルパー不足の解消や、声の広報の充実など、障がい者差別解消に向けた総合的な取組みを求める。

【公共施設は市民の拠点として発展できるように】公共施設の総合管理計画によって進めようとしている公共施設の民営化や有料化に断固として反対。市民1人当たりの公共施設の面積が少ない本市において、生きがいの場づくり、介護予防の充実、地域コミュニティの強化など、公共施設の発展をめざし、市と市民と一緒に考えていく必要がある。

【国分寺まつり問題は市に責任があることが判明】参加・出店の条件を決める権限があるのは実行委員会ではなく国分寺市にあることが判明した。特定団体だけが参加できない現状の解決に向けて、市が地方自治法や自治基本条例の立場に立って責任を果たすよう強く求める。

【学校施設の改善に全力を】学校トイレの改善の取り組みを2015年度から開始し、2016年度からは特別教室へのエアコン設置にも取り組むことは評価。ただ、計画が遅れないように最大限の努力を求める。

課題山積の中、北口着工嵐の前の一服感



無会派(無所属) 甲斐 よしと

扶助費(福祉的経費)が増大する中、財政調整基金(貯金)6億6,076万積み増したことは評価する。首相は経済は好循環だというのが、円安により一部の大企業のみ恩恵だ。どんな時にも格差があるまま取り残されてしまった収入層にしわ寄せが来る。来年度の生活困窮自立支援法に基づく事業を初めとして、市長が私の代表質問に答えたように、野球で言えば、三遊間の球を捕るような仕事をせよと職員に言いたいと答弁したような個々の難題に寄り添っていただく仕事を期待できると切望する。新たな国分寺市地域福祉計画に基づく実施計画2年目の年として、より市民の皆様幅広く共有していただき、わずかな力でも、手を差し伸べて支え合

るような実践へ向けていただきたい。その上でよりの確で公正な自己評価を地域福祉推進委員会による進行管理を着実に求める。高齢者施策においては私も提案してきた介護保険ボランティア制度導入。市内2カ所の認知症カフェ、認知症地域支援推進員を3カ所の地域包括支援センターに設置。ぜひ認知症カフェ、認知症カフェタイム・コーナーを他施設に間借りしてでも設置して地域格差を縮め、社会共有化を図っていただきたい。

保育園待機児は28年度中に173名の認可保育誘致をしたにも関わらず現在187名の待機児がいる現実を踏まえ更なる拡充をお願いしたい。

今後、増大する社会保障費に加え、3市による可燃ごみ共同処理施設建設、北口再開発につながる国3・4・12号線新設、公共施設のマネジメントに従う大規模修繕等々が控え、経済の先行き不安、現在は嵐の前の静けさのように感じる。

私との議論の分かれる点も改めて検討を求めている。その願いを十分にくんでいただく事を改めて求めるところである。

第1回定例会陳情の審議結果

第1回定例会では陳情2件が付託され、継続中の5件と併せて審議した結果、継続3件、審議終了2件、不採択1件、取り下げ1件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第27-6号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第27-9号 国3・2・8号線事業の車線数変更を東京都へ求める陳情

陳情第28-1号 子どもをめぐる施設に対する安全ガイドライン策定に関する陳情

《審議終了となった陳情》

陳情第27-10号 「公共施設を有料化しな

いでください」についての陳情

陳情第27-12号 原発に依存しないエネルギー政策へ転換を求める意見書の提出を求める陳情

《不採択となった陳情》

陳情第28-2号 日野市石田地区における日野市・国分寺市・小金井市三市共同による新可燃ごみ焼却施設建設計画の中止を求める陳情

《取り下げとなった陳情》

陳情第27-5号 国分寺市の硬式少年野球選手の育成のための練習グラウンド環境改善の陳情

議案に対する議員の表決状況(賛否の分かれたもの・退席があったもの)

Table with columns for '議案名' (Proposal Name) and '議員名' (Member Name). It lists 14 proposals and the voting status of 21 council members across various parties like '自民党国分寺市議団', '政策市民フォーラム', '公明党', '共産党', 'ネット', and '無'.

・表決(○=賛成 ×=反対 退=退席)

・会派名(政策市民フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、無=無会派(無所属))

## 第1回定例会議案審議結果

第1回定例会には新規60件（市長提出59件、委員会提出1件）の議案が提出され、継続中の2件と併せ計62件は、承認1件、同意19件、可決41件、撤回1件となりました。  
※太字表記の議案の表決状況は7頁を参照してください。

議案番号	議案名	議案の要旨	結果
委員会提出議案第1号	国分寺市議会会議規則の一部を改正する規則について	一般質問及び代表質問等における質問席を設置する。	全員賛成・可決
<b>第96号</b> (平成27年)	国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例について	保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画に基づき、国分寺市立日吉保育園を民設民営化する。	<b>賛成多数・可決</b>
<b>第111号</b> (平成27年)	財産の無償譲渡について	国分寺市立日吉保育園の民設民営化に伴い、継続的かつ安定的に良質な保育の提供を図るため、園舎を無償譲渡する。	<b>賛成多数・可決</b>
第1号	平成28年度国分寺市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ408億5,641万3千円と定める。	撤回・58号で再提案
第2号	平成28年度国分寺市土地取得特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億7,550万7千円と定める。	全員賛成・可決
<b>第3号</b>	平成28年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ26億7,809万9千円と定める。	<b>賛成多数・可決</b>
第4号	平成28年度国分寺市地域バス運行事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,659万3千円と定める。	全員賛成・可決
第5号	平成28年度国分寺市国民健康保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ127億8,862万5千円と定める。	全員賛成・可決
<b>第6号</b>	平成28年度国分寺市介護保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ82億2,528万7千円と定める。	<b>賛成多数・可決</b>
第7号	平成28年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ26億1,281万2千円と定める。	全員賛成・可決
第8号	平成28年度国分寺市下水道事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ34億670万1千円と定める。	全員賛成・可決
第9号	専決処分について	平成27年度国民健康保険特別会計の国民健康保険税の歳出還付予算に、不足が生じることが見込まれたことから補正を行う必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	全員賛成・承認
<b>第10号</b>	平成27年度国分寺市一般会計補正予算（第6号）	歳入歳出予算の総額に3億5,109万9千円を増額し、歳入歳出それぞれ424億611万円とする。	<b>賛成多数・可決</b>
<b>第11号</b>	平成27年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算の総額に2,936万円を増額し、歳入歳出それぞれ25億8,803万5千円とする。	<b>賛成多数・可決</b>
第12号	平成27年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	歳入歳出予算の総額に1,103万5千円を増額し、歳入歳出それぞれ130億3,092万2千円とする。	全員賛成・可決
第13号	平成27年度国分寺市介護保険特別会計補正予算（第4号）	歳入歳出予算の総額に1億652万6千円から減額し、歳入歳出それぞれ79億4,173万1千円とする。	全員賛成・可決
第14号	平成27年度国分寺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算の総額に1,787万2千円から減額し、歳入歳出それぞれ26億142万2千円とする。	全員賛成・可決
第15号	平成27年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出予算の総額に6億5,067万2千円から減額し、歳入歳出それぞれ34億3,567万5千円とする。	全員賛成・可決
第16号	国分寺市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	行政不服審査法の施行に伴い、固定資産評価審査委員会における手続に関する規定を整理する。	全員賛成・可決
第17号	国分寺市自治基本条例の一部を改正する条例について	農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会委員の選出方法が公選制から市長村長の選任制になることから、行政委員会委員の選任に関する規定等を整理する。	全員賛成・可決
第18号	国分寺市特別職の職員の常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について	市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を改定する。	全員賛成・可決
<b>第19号</b>	国分寺市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法の改正に伴い、分限事由を明確化するとともに、東京都の勤務条件に準拠し、休職処分の期間を通算する制度を設ける。	<b>賛成多数・可決</b>
<b>第20号</b>	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法の改正に伴い、等級別基準職務表を規定するとともに、平成27年度における一般職の職員の給与を改定し、東京都の給与制度に準拠した給与制度を構築する。	<b>賛成多数・可決</b>
<b>第21号</b>	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法の改正に伴い、引用条項を整理するとともに、育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び超過勤務の制限、育児を行う職員の超過勤務の免除並びに年次有給休暇の暦年管理から年度管理への変更を規定する。	<b>賛成多数・可決</b>
第22号	国分寺市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法の改正に伴い、引用条項を整理する。	全員賛成・可決
第23号	国分寺市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法の改正に伴い、任命権者の報告事項について整理する。	全員賛成・可決
第24号	国分寺市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員災害補償法施行令の改正に伴い、併給調整率を変更する。	全員賛成・可決
第25号	国分寺市農業委員会の委員の定数に関する条例及び国分寺市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	農業委員会等に関する法律の改正に伴い、委員の定数及び引用条項等を整理する。	全員賛成・可決
第26号	国分寺市障害者支援区分認定審査会設置条例の一部を改正する条例について	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令の改正に伴い、委員の任期を改めるとともに、課の名称を変更する。	全員賛成・可決
第27号	国分寺市障害者自立支援協議会設置条例の一部を改正する条例について	協議会の庶務を担当する課の名称を変更する。	全員賛成・可決
第28号	国分寺市障害者施策推進協議会設置条例について	市の障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、障害者基本法第36条第4項の規定に基づく市長の附属機関を設置する。	全員賛成・可決
第29号	国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	福祉事務所嘱託医等の報酬の額を改定する。	全員賛成・可決
<b>第30号</b>	国分寺市介護保険条例等の一部を改正する条例について	介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、地域支援事業の種類及び事業内容を整理する。	<b>賛成多数・可決</b>
<b>第31号</b>	国分寺市高齢者在宅サービスセンター条例等の一部を改正する条例について	介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、利用対象者等の規定を整理する。	<b>賛成多数・可決</b>
第32号	介護保険法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例について	介護保険法の改正に伴い、引用条項を整理する。	全員賛成・可決
第33号	国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例について	国分寺市都市マスタープランの改定等に伴い、文言を整理する。	全員賛成・可決
第34号	国分寺市事務手数料条例の一部を改正する条例について	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の制定等に伴い、建築物エネルギー消費性能向上計画の認定審査手数料の新設等を行う。	全員賛成・可決
第35号	国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について	市立の公園（本多きしゃぼっぽ公園、高木町中央公園）を2件新設する。	全員賛成・可決
第36号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、岡野和弘氏を再任する。	全員賛成・同意
第37号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、小野由紀子氏を再任する。	全員賛成・同意
第38号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、金崎剛志氏を選任する。	全員賛成・同意
第39号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、来住伸子氏を再任する。	全員賛成・同意
第40号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、佐藤修氏を再任する。	全員賛成・同意
第41号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、篠江雄一氏を選任する。	全員賛成・同意
第42号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、鈴木敬氏を再任する。	全員賛成・同意
第43号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、早川栄一氏を再任する。	全員賛成・同意
第44号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、本多教義氏を再任する。	全員賛成・同意
第45号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、丸山一貴氏を選任する。	全員賛成・同意
第46号	国分寺市オンズパーソンの選任について	国分寺市オンズパーソンの任期満了に伴い、櫻井一成氏を選任する。	全員賛成・同意
第47号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	国分寺市固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、中田文央氏を選任する。	全員賛成・同意
第48号	国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の任期満了に伴い、後藤真理子氏を再任する。	全員賛成・同意
第49号	国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の任期満了に伴い、齊藤正氏を再任する。	全員賛成・同意
第50号	国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の任期満了に伴い、関智文氏を選任する。	全員賛成・同意
第51号	国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の任期満了に伴い、平山博氏を再任する。	全員賛成・同意
第52号	国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の任期満了に伴い、和田英治氏を再任する。	全員賛成・同意
<b>第53号</b>	市道路線の認定について	市道北262号線（新町一丁目19-1～19-3）を市道路線として認定する。	<b>賛成多数・可決</b>
第54号	指定管理者の指定について	国分寺市プレイステーションの管理業務を平成28年4月1日から平成29年3月31日まで、特定非営利活動法人「冒険遊び場の会」に行わせる。	全員賛成・可決
第55号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	後期高齢者医療保険料の軽減に係る経費を、各市区町村の一般財源から分賦金として支弁するための規約変更を行う。	全員賛成・可決
<b>第56号</b>	副市長の選任について	国分寺市副市長の退任に伴い、内藤達也氏を選任する。	<b>賛成多数・同意</b>
<b>第57号</b>	国分寺市固定資産評価員の選任について	国分寺市固定資産評価員の選任に伴い、内藤達也氏を選任する。	<b>賛成多数・同意</b>
<b>第58号</b>	平成28年度国分寺市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ408億5,641万3千円と定める。	<b>賛成多数・可決</b>
第59号	平成28年度国分寺市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に4億4,065万9千円を増額し、歳入歳出それぞれ412億9,707万2千円とする。	全員賛成・可決